

平成29年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科		
担当者名	山口俊憲		
講座名	ものづくりカイゼンセミナー(6)ものづくりカイゼンの進め方 (※従来の「生産性・品質・安全性向上コース」から名称を変更)		
実施日時	① 平成30年1月10日(水)	18:00~21:00	
	② 平成30年1月17日(水)	18:00~21:00	
	③ 平成30年1月24日(水)	18:00~21:00	
	④ 平成30年1月31日(水)	18:00~21:00	
	⑤ 平成30年2月7日(水)	18:00~21:00	(計15時間)
募集定員	6人(申込者多数の場合最大12名程度まで)		
募集対象	対象職種：製造業 受講に必要なレベル：生産改善に関する知識をある程度持っており、現在、生産管理、品質管理等の管理業務を行われている方、あるいは今後その役割を担う方		
注 意 点	ものづくりカイゼンセミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場カイゼンに取り組む同一講師が全て担当しています。 本講座のみレベル不問としておらず、現場改善の中心となるリーダーのための講座となっています。そのため、過去に(旧講座名)ものづくり・サービス改善コースを受講された方、本校産業技術専攻科(旧名)マネジメント情報コースを修了された方、他の機関で経営工学や生産管理等、同様の内容を学ばれた方を対象としています。		
講座内容	生産性・品質の向上を実施するためには、現場から管理者まで様々なレベルにわたる人員の生産管理への理解、カイゼン手法の習得、ものづくりに対する意識の変革が必要となります。また、カイゼンの進め方を理解したリーダーの役割が重要となります。本講座では、生産性・品質・安全性向上を進める上で、現場カイゼンのリーダーに必要な知識やカイゼンの進め方について習得します。また、ものづくり・サービス改善セミナー(1)～(5)で用いている実習教材を活用した教育を受講者が勤める企業で活用するための方法を習得します。		
目 標	現場カイゼンの中心的役割を果たすリーダーとなること。		
履修項目	①生産現場の目指す姿を考える ②生産、生産管理、品質マネジメントとは ③ノンテクニカルスキル ④事例紹介に基づく改善の進め方 ⑤求められる生産に対応する人材の育成 ・模擬生産ライン(多品種少量、工程バランス、リードタイム短縮への理解)を活用した人材育成の進め方 ・ブロックを用いた動作改善分析トレーニングの進め方 ・ブロックを用いた文書コミュニケーショントレーニングの進め方		
使用装置	特になし		
受講費用	受講料：6,900円(15時間コース) 自己負担： 円(テキスト： 円・材料費： 円)		

講座費用	報 償 費	円	印刷製本費	円	材 料 費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業の方の申し込みが多いため、講座名を「ものづくりカイゼン」と改めた。 ・ 例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を記載した。 ・ 注意点において、ものづくりカイゼンセミナーの受講方法や受講生の受講例、産業技術専攻科の広報を目的にこのセミナーとの連携について記載した。 ・ 専門課程での単位互換はない。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「工程分析・改善」、「動作解析・改善」の受講を一部免除する。 					